

私が障害福祉サービス事業所で

働くようになった訳



障害福祉サービス事業所で働く前

私は幼い頃から保育士になることが夢でした。そのため、高校も保育の学べる福祉系の高校に進学し、大学も関東短期大学の子ども学科で学びました。大学での学びは専門知識の座学に加え、ピアノなどの保育技術の実技、そして現場実習でした。

1年生の冬の施設実習で大地に実習場所が決まりました。実習が始まるまでは、障害を持つ方に対して、障害者施設に対しても知識がほとんど無かったため、不安と勝手なイメージから来る恐怖でいっぱいでした。

しかし、実習が始まるとそのような思いは消えていきました。それは、ご利用者はもちろん職員の皆さんの笑顔や施設全体の暖かい雰囲気などが良かったからです。

大地での実習後も、保育園や幼稚園での実習をおこないました。卒業後の「就職」を考え実習を振り返ると、一番充実していた実習は大地での実習と思いました。すぐに電話で就職したい旨を伝え就職試験を受けました。

働き始めると

入社し、約一年ぶりの大地は、ご利用者の人数が増えていくなどの変化はあるものの、ご利用者も職員さんもそし



て施設の雰囲気も以前と変わらずとても暖かいものでした。
大きく変わったのは私自身です。「学生」ではなく「職員」となったことでした。

『実習生』ではなく『支援員』となり、ご利用者と関わっていくうえで多くの責任が生まれました。ご利用者の気持ちを読み取る難しさや適切な声かけの大切さを強く感じ、何をすべきなのかがわからず、戸惑うことも多くありました。

しかし、毎日を大地で過ごしていきながら、ご利用者の気持ちを読み取ることが出来た時、今までに感じたことの無い大きな喜びを感じました。

これからの私

大地での生活は、毎日多くの発見や学びがあります。その一つ一つを自分の身体に染み込ませて、ご利用者により良い関係を築きあげていきたいです。また、ご利用者が毎日楽しい時間が過ごせるように様々な企画を考えていきたいです。

そのためには、興味を広く持ち、様々なイベントに参加し、ご利用者の障害について学び、そしてコミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。

所属部署 上司からのひとこと

高野さんは今年度入社し元気に働いてくれています。

大地は開所以来、男性スタッフが渡辺管理者と私（細川）の2人でしたので、男性ご利用者が多いこともあり、高野さんの入社が決まったときは早く一緒に働きたいと思いました。

そして、一緒に働いてみると爽やかな印象が強く、女性スタッフが高野さんをキラキラした笑顔で迎え入れるので、私も負けていられないと、ヤキモチを焼いたことを覚えています。（笑）

今では相当仕事を覚え、外注作業班・レクレーション係を担当してもらっています。特にレクレーション担当としては色々なアイデアを出して企画し実行し、その能力はとても長けていると思います。学校で学んできた知識を大いに発揮してくれています。

これからの高野さんに望むことは

- 1) 日々変わるご利用者の様子をキャッチして、一步先を読んだ支援・介護が出来るようになって欲しい。
- 2) 正しい知識を身につけて障害特性を理解した支援・介護をして欲しい。
- 3) 社会人として組織で働くことの楽しさや難しさを学んで欲しい。

それには、日々勉強です。毎日の1分1秒を大切に成長してくれるとうれしいです。

上司：支援課長（サービス管理責任者） 細川 竜太



高野 憲（こうの けん） 平成7年5月生まれ 関東短期大学 平成28年3月卒業

平成28年4月 社会福祉法人健翔会へ入職 入職後、健翔会の運営する障害福祉サービス事業所 大地に配属される

健翔会 大地 埼玉県行田市小見 1144-2 電話：048-555-6166